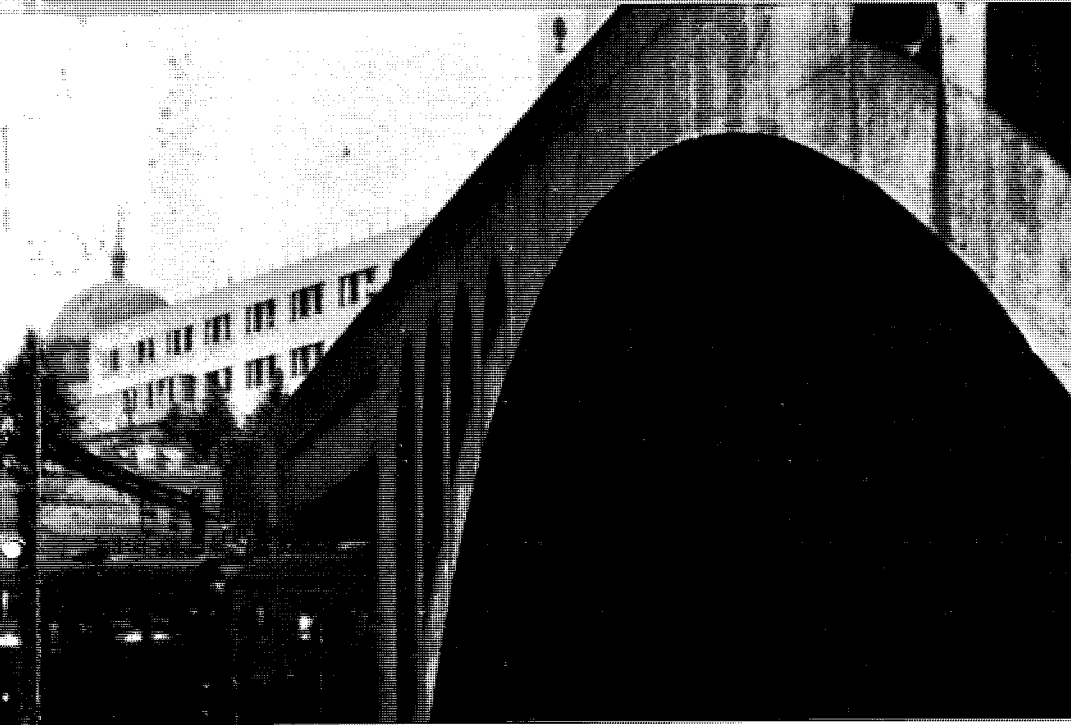


櫻 工



会長就任に当り……………佐多百承…	1	支部便り……………	20
就職に関する座談会……………	3	学内だより……………	22
鳳来寺山吟行……………池森竜鶴…	14	学生自治会……………	23
随想“爆発”……………穴沢一郎…	16	雑報欄……………	24
校友会記事		あとがき……………	24
昭和31年度日本大学校友会総会……………	19		

櫻 工

1956

VOL. 2 NO. 5



日本大学工科校友会

日本大学工科校友会

編集委員

委員長 川村 達郎

委員幹事 亀井 幸次郎

委員 伊藤 真治

〃 大内 順

〃 小笠原 達男

〃 穴沢 一郎

会長就任に当り

佐 多 直 承

去る六月二日開催されました昭和三十一年度工科校友会総会に於て、不肖私が藤井前会長の後を受けて本年度の会長の重責を担ふ事となりました。もとより浅学非才の私が斯様な重大責務を負ふ器ではありませんが、会員皆様方の御指名により選任されました以上は、役員初め会員各位の御協力御鞭撻の下に本会発展の為努力を致したいと存じます。

私は高工土木才二回卒業で現在東京都才二復興区画整理事務所長を致して居ります。尙日大工業学園には卒業直後より今日迄三十有餘年関係し学園の為微力を致して居ります。

扱、工科校友会は去る二十一年歴代の会長、並に役員、会員各位の御儘力により日尙浅いに拘らず確固たる基礎を築き発展しつつある事は誠に御同慶に堪へない次才であります。

顧りみますと我が工業学園は大正九年高等工学校が創立せられ、次いで工学部、専門部工科、工業学校等の新設戦後の学制改革による新制大学、短期大学の創立等目ざましい発展を遂げ爾来三十有六年、年々多数の卒業生を社会に送り其の敦実に三万数千を数え、又工科在學生数一万に及ぶ盛況であります事は誠に喜びに甚へない次才であります。工科校友会はこの三万五千の校友と一万余の在學生とを会員として過去ケ10年、会員相互の親睦と母校の振興に貢献致して参つたのであります。校友会員の実社会に於ける活躍振りを見ますに官公庁会社、各事業場に於て今日目ざましいものがあり世の注目をひいて

あ と が き

本年度最初の本号は夏季休暇前に発刊の予定で居りましたが、諸般の情勢で休暇明けとなつてしまいました。毎号予定を遅れ甚だ申し訳けありません。本号は来春卒業する学生に参考に供する爲、就職特集として座談会を開催して速記録を掲載しました。会長の就任挨拶にもあります

様に全国的に支部の擴充の爲努力して居りますが、地方色豊かな記事を掲載したいと思いますから是非御投稿下さる様御願ひ致します。地方校友は小冊子ではありますが本誌の発行を待たれて居ります。在京校友は地方の方々へ情報を提供し、舊交を温めて下さい。

桜 工 第5号

昭和31年9月5日 印刷
昭和31年9月10日 発行

編集人 杉 村 俊 一
発行人 高 木 政 司

東京都北区中十条3ノ23

印刷所 ジャーナル社印刷所
電話(91)2124番

東京都千代田区神田駿河台1ノ8

発行所 日本大学工科校友会
電話東京(29)7711代表-9番
振替口座東京162710番